

今工会報

第45号

発行所

今工会事務局

☎557-0024

大阪市西成区出城1-1-6

大阪府立今宮工科高校内

電話 06 (6631) 0055～7番

編集発行人 吉田 信夫

祝今工創立110周年

母校体育館で記念式典

2024年11月16日

アウィーイ+大阪で祝賀会

講演：法政大教授

H6年A科卒 今井龍一氏

漫才：おしどり大名

H25年M系卒山本晴伸さん(右)

大阪府立今宮工科高等学校
創立110周年記念祝賀会



下記、出欠、
ご意見、近
況報告の
QRコード
です。
よろしく。

2025年度 今工会総会 ご案内

日時：10月25日(土)11時開会

場所：天王寺「都シティーホテル」

会費：6000円

110周年、皆様のご協力で成功裏に終わることが
できました。その直後会長さんの悲報。今後も今工会を皆
で盛り上げていきましょう。ぜひご参加を！！

総会の出欠、今工会へのご意見、近況よろしくお願い致します。



悲報

野田
昌洋
会長
2024年
12月31日
ご逝去さ
れました。

(4ページに
偲ぶことば)

会長代理挨拶

母校と今工会の

さらなる発展を！

今工会副会長 西村 晴天

今工会の皆様におかれましては、お元気でお過ごしでしょうか。

初めに、10 年の長きにわたり今工会発展のために会長としてご尽力いただき、野田昌洋氏が昨年末、逝去されましたことをご報告申し上げます。



今工会館資料室の充実や 110 周年記念事業の成功など、そのご功績は多大なものがあり、深く感謝申し上げますとともに、慎んでご冥福をお祈りいたします。

本校は、府立職工学校分校として創立以来、今宮職工学校、今宮工業学校、今宮工業高等学校、そして「大阪府立今宮工科高等学校」として改称され現在に至っていますが、昨年 11 月に創立 110 周年の記念行事を終え、新たな一歩を踏み出しました。

歴史と伝統のある卒業生の皆様は、「今工魂」の発揮で、社会の各所で貢献され、モノ作りをはじめ各界で多大な寄与をされてきました。

昨今、生徒の減少で工科高校の現状も厳しい状況となっていますが、今宮工科高校は、母校の名前が変わっても、今後も府下工科高校のリーディング校として存在していかなければなりません。

今工会も母校が未来へ向かってどう動くのかをただ見ているだけでなく、愛着を持ち続けることのできる母校として、今工の卒業生としての大いなる誇りと変わらない母校愛で、今工のより良い発展と、後輩の生徒たちが希望を持って学校生活が送れるよう支えていきたいと思ひます。

今後とも、今工会の活動にご支援ご協力を何卒、よろしくお願い申し上げます。〔なお、会長は 9 月常任理事会を経て、10 月総会で選出予定です〕

ご挨拶

学校長 阿部 政之

今工会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、母校発展のためご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年 11 月 16 日の本校創立 110 周年記念式典では、皆様のご協力により盛況のうちに幕を閉じることができました。式典の運営にご協力いただきました故野田昌洋会長をはじめ、今工会の皆様には、心より感謝申し上げます。



大阪府教育委員会は、令和 5 年 11 月 13 日に西野田工科高校を令和 7 年度入学生から募集停止にし、本校に機能統合する再編整備計画を発表しました。令和 6 年 3 月 28 日には、西野田工科高校の工業デザイン系を本校のグラフィックデザイン系に継承・発展させ、教育内容の充実を図る旨を発表し、改編後はデザイン系コミュニケーションデザイン専科となり、令和 7 年度入学生からが対象となりました。現在、デザイン系実習室の改修工事を行っており、随時新たな実習装置を導入いたします。さらに、再編整備に伴い、総合募集の機械系が 1 クラス増となり、学年全体で 7 クラスとなりました。

また、令和 7 年度入学生からは、「工業系高校の教育内容の充実」を図るため、①時代に即した基礎・基本に対応した実習内容の検討、②深化・接続コースの教育課程の改編の検討により、教育課程の見直しを図り、令和 7、8 年度の 2 年間で、系ごとに約 1,500 万円の実習設備を導入いたします。

本校は、これまで培ってきた「ものづくりは人づくり」を踏まえ、「就職に強い今工」から工学系大学進学専科の設置に伴い「就職も進学も強い今工」へと変貌しています。

今後とも、生徒育成と教育環境の向上に努力する所存ですので、今工会の皆様におかれましても、ご支援の程よろしくお願いいたします。

結びに、今工会のますますのご隆盛と皆様のご活躍ご多幸をお祈り申しあげ、ご挨拶とさせていただきます。

R5 年

体育祭 ヤンマーフィールド長居
10 月 20 日

文化祭 本校 10 月 27・28 日

クラブ活動

放送部：第 70 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト

日本拳法部：第 68 回全国高等学校日本拳法選手権大会

ベタンク部：第 38 回全国ベタンク選手権大会

R6 年度

体育祭 大阪府立体育館 6 月 17 日

創立 110 周年記念式典を本校体育館で挙行 11 月 16 日

文化祭 本校 12 月 13・14 日

クラブ活動

放送部：第 71 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト

日本拳法部：第 69 回全国高等学校日本拳法選手権大会

R7 年度

体育祭：堺市大浜体育館 6 月 10 日

文化祭：本校 11 月 28・29 日

開催予定 29 日一般公開

クラブ活動

放送部：第 72 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト

出場

日本拳法部：

第 70 回全国高等

学校日本拳法選手

権大会出場



ベタンク・金属製のボールを投げ合い、目標物により近い者が勝つゲーム

今工のいま1

令和6年度 会計決算書

【一般会計】

1.収入の部

項 目	予算額(円)	収入額(円)	備 考
前年度繰越	13,535,541	13,535,541	
会費収入	1,400,000	1,482,000	全日制 150名 1,200,000 定時制 14名概数 98,000
銀行利息	0	0	決済口座のため利息なし
雑費収入	0	0	卒業生、学年費残額寄付等
合 計	14,935,541	15,017,541	

2.支出の部

費 目	項 目	予算額(円)	支出額(円)
庶 務 費	庶務費総計	730,000	233,030
	理事会・幹事会費	500,000	50,440
	卒業生記念品等	150,000	131,990
	慶弔費	50,000	50,600
	庶務部費	30,000	0
編 集 費	編集費総計	150,000	37,958
	会報発送諸費	50,000	0
	会報発行諸費(会報代含)	0	0
	編集部費	100,000	37,958
事 業 費	事業費総計	780,000	673,000
	支部・クラス会補助費	70,000	10,000
	広報関係費	10,000	0
	部活振興費	300,000	300,000
	事業部費	400,000	363,000
会 計 費	会計費総計	3,000	0
	会計監査費	1,500	0
	会計部費	1,500	0
事務局 費	事務局費総計	350,000	79,441
	事務局費	200,000	74,001
	企画室費	50,000	0
	調査・通信・交通費	100,000	5,440
費 目 小 計		2,013,000	1,023,429
(予 備 費)		12,922,541	231,110
合 計		14,935,541	1,254,539

3.差引残高

収入額 ￥15,017,541

支出額 ￥1,254,539

差引残高 ￥13,763,002

令和7年度へ繰越

今工会周年記念行事

事業基金収支報告書

収入の部

前年度繰越金	6,898,204
利息	2,937
110周年記念事業寄付	3,702,310
計	10,573,451

支出の部

110周年実行委へ 送金及び手数料	8,001,540
----------------------	-----------

差引残高 2,571,911

次年度に繰り越し

部活動振興会援助基金収支報告書

収入の部

前年度繰越金	1,269,520
一般会計より	300,000
利息	624
計	1,570,144

支出の部

放送部援助金	109,250
日本拳法部援助金	48,200
日本拳法部援助金	14,260
ペタンク部援助金	32,045
計	203,389

差引残高 1,366,755

次年度に繰り越し

進路指導室の
求人掲示本館廊下の
今工紹介掲示板

R5年、R6年の卒業生各クラスの幹事の皆さんを紹介します

	機械系	電気系 A	電気系 B	建築系	グラフィック デザイン系	工学系
R5 全日制	郡 大和	井上駿之介	岡内涼馬	岡本 楽	石村海斗	宮下 簾
	新田恵大	川本緑駆	溝山大陸	鳥羽暖太	村田獅音	東 紗春
定時制	弥勒汐音	高瀬烈志	武智愛夢			
R6 全日制	田中秀暉	塩路太陽	中村郁太	林 宥吏	土居夏希	小原大河
	横田謙汰	野本翔琉	大下楓人	山本聖也	荒木伶王	越賀斗穂
定時制	中西 央	出原野乃花				

幹事の皆さん、ご苦労様ですが、クラス会の幹事として、そして今工会との連絡役としてよろしくお願い致します。お仕事やさまざまなことで、幹事が難しくなった場合、同じクラスの方に交代をお願いしていただき、ご連絡いただければ幸いです。

野田昌洋会長を偲んで

副会長 伊 奈 昭

令和6年師走大晦日に野田会長がお亡くなりになりました。早くも半年以上が過ぎようとしています。この間、会長不在での役員会が行なわれましたが会長不在での会議に一抹の寂しさがぬぐえません。



正月明けのご葬儀に参列した際、野田会長との日々が走馬灯の如く蘇ってきました。当時事務局長だった私が、深くかかわることになったのは、当時相談役であった野田氏を役員依頼に伺った時からです。一度目は現在の役員状況説明、二度目は副会長の役職説明、そして三度目に、私でよければと、にこやかに快諾いただきました。笑顔がすがすがしかったです。時はまさに100年記念事業の企画委員会から実行委員会への移行の年でもありました。

100年祝賀会においては、野田副会長と石田副会長との名コンビが光りました。セレモニーでの和太鼓演技の企画、卒業生でもある桂南光氏の司会者起用など、粛々と執り行われる式典、厳かな交響楽団の演奏に対して、すべてにおいて100周年の祝いを盛大に楽しく盛り上げるための企画でした。そして、野田副会長の万歳三唱でお開きとなり、大きな役割を果たされ、参加者から絶賛の拍手をいただきました。

峯山前会長のあとを引き継がれ、この10年今工会と母校のために奮闘されてきました。平成6年110周年記念事業では、実行委員長として成功のため全力を尽くされました。本当にお疲れ様でした。

お忙しい毎日だったと思います。ゆっくりお休みください。

役員一同、野田会長の思いを引き継ぎ今工会と母校のため頑張ります。 合掌



野田会長挨拶 [本当にお元気でしたのに]



平成3年機械卒・藤井氏スピーチ



昭和48年建築科卒3名のスピーチ



式典の前後に今工会館資料室公開



今工創立 110 周年記念事業基金寄贈者

この度は、今工 110 周年に当たりご協力ありがとうございました。お陰様で行事を成功裏に実施することができました。お名前を掲載しお礼とさせていただきます。

(順不同) 同窓職員は卒業生の列に入れていきます。

高→高級科 工学→工学系進学科

GA→グラフィック・アート科

不明の方々・・・正確な名称ご連絡下さい。

校正をしました、抜けていたり、もしお名前・卒業年度・科など間違っていましたらお許しください。ご連絡いただければと思います。次号で訂正させていただきます。

昭和20 機械 加藤幸蔵
昭和21 電気 山本三雄
昭和22 印刷 金盛輝
昭和22 高建 高橋喜代司
昭和22 高機 安田勇
昭和23 機械 塩野勝光
昭和24 機械 吉田清治
昭和24 高機 奥野幸雄
昭和25 電気 中井正男
昭和25 電気 片井敬二
昭和26 機械 榎本新一
昭和28 電気 森寛治
昭和28 建築 藤寛也
昭和28 電気 金城哲也
昭和28 電気 和田暁夫
昭和29 機械 笹野貞夫
昭和29 建築 古澤通敏
昭和29 建築 鈴木元治
昭和29 機械 阿部久司
昭和30 機械 濱垣保夫
昭和30 定機 田中秋裕
昭和30 定機 京盛正雄
昭和30 電気 山本哲昇
昭和31 印刷 片山保昇
昭和31 印刷 高橋義雄
昭和31 建築 江崎寛
昭和31 電気 澤田順一郎
昭和32 印刷 野堀莊一郎
昭和32 印刷 小河文治
昭和32 印刷 内本義和
昭和32 機械 杉本文夫
昭和32 電気 荒川泰蔵
昭和33 機械 今村吉雄
昭和33 印刷 村田義司
昭和33 印刷 山口泰司
昭和33 印刷 熊谷米泰
昭和33 建築 松村十四光
昭和33 建築 小瀬政義
昭和33 建築 田中裕志
昭和34 電気 加藤裕造
昭和34 機械 川島裕児
昭和34 機械 渡辺生治
昭和34 機械 面川義明
昭和34 機械 花岡逸次
昭和34 機械 小仲恒雄
昭和34 機械 塚崎忠弘
昭和34 機械 小仲恒雄
昭和34 機械 松川春雄
昭和34 機械 塚崎忠弘
昭和34 建築 小山興彦
昭和34 建築 吉森貞夫
昭和34 建築 土居唯宏
昭和34 定機 松浦清夫
昭和34 定機 西村邦夫
昭和35 定機 新井正準
昭和35 機械 瀬川和義
昭和35 建築 酒井重男
昭和35 定機 岡本惣佳
昭和35 定機 山下佳
昭和35 定機 柏原克彦
昭和35 定機 不破勝彦
昭和35 定機 吉田信夫
昭和36 定機 杉山敏彦
昭和36 印刷 種村宏
昭和36 機械 川北武夫
昭和36 機械 野口一夫
昭和36 機械 大本豊重
昭和36 機械 久保昌孝
昭和36 機械 友利自雄
昭和36 建築 松井良祐

昭和36 建築 山下隆三
昭和36 建築 柳本竜男
昭和36 定機 中島敏彦
昭和36 定機 杉山朝晴
昭和36 定機 赤木晃哲
昭和37 定機 山本晃哲
昭和37 定機 新井一弘
昭和37 機械 中村英二
昭和37 建築 黒岡進
昭和37 建築 依光駿介
昭和37 定機 吉谷弘行
昭和37 定機 谷本洋八郎
昭和37 定機 長井哲明
昭和37 定機 松本茂忠
昭和37 電気 松本充博
昭和37 電気 大谷新太郎
昭和38 機械 田野実
昭和38 機械 笠原正三
昭和38 定機 秋吉章三
昭和38 印刷 横井保満
昭和38 電気 中村典成
昭和39 電気 村上敏三
昭和39 機械 久長隆宣
昭和39 機械 小住俊彦
昭和39 機械 豊島久勝
昭和39 定機 濱田邦昭
昭和39 建築 溝口五郎
昭和39 建築 井克博
昭和39 建築 森田弘慈
昭和39 定機 田尾勝人
昭和39 定機 竹部孝之
昭和39 定機 岩崎輝久
昭和40 印刷 伊藤裕康
昭和40 機械 佐藤伸二
昭和40 機械 館川一三
昭和40 機械 池田武司
昭和40 機械 和田武夫
昭和40 機械 森本孝一
昭和40 建築 長谷川耕三
昭和40 建築 元橋文男
昭和40 電気 高間勝信
昭和40 電気 船富重晴
昭和40 電気 矢部行弘
昭和40 印刷 丸山保幸
昭和41 建築 國場義美
昭和41 電気 山野秀樹
昭和41 電気 未森保志
昭和41 印刷 北野実
昭和41 印刷 田中啓視
昭和41 機械 大本康博
昭和41 機械 正木康弘
昭和41 機械 林萬太郎
昭和41 建築 安岡眞治
昭和41 定機 三好利治
昭和42 電気 山本吉広
昭和42 機械 西村晴天
昭和42 機械 岩坪守夫
昭和42 機械 森田幸夫
昭和42 機械 都外川洋
昭和42 機械 山田文雄
昭和42 建築 熊澤幸博
昭和43 機械 喜多健一
昭和43 機械 平尾敏夫
昭和43 機械 生島清友
昭和43 機械 塩田信夫
昭和43 定機 原野鉄雄
昭和43 電気 綿谷実
昭和43 電気 今井善二郎

昭和43 電気 小出一夫
昭和43 電気 近藤孝雄
昭和43 建築 富平修司
昭和44 機械 数内粧市郎
昭和44 機械 松本健治
昭和44 機械 平川康弘
昭和44 建築 大園勉
昭和44 建築 竹森安央
昭和44 電気 堀本修
昭和44 機械 石田修
昭和45 電気 益池正房
昭和45 機械 上田利信
昭和45 機械 早野修身
昭和45 機械 妹尾義博
昭和45 定機 三田裕志
昭和45 定機 岩木政利
昭和45 定機 今井宗一
昭和46 印刷 鉦石大二郎
昭和46 電気 上脇公徳
昭和46 建築 柳原寛
昭和46 建築 末広和雄
昭和47 機械 伊奈昭二
昭和47 機械 米島健二
昭和47 機械 鶴啓之
昭和47 建築 中島則和
昭和48 電気 土居司文夫
昭和48 機械 杉本秀司
昭和48 建築 川端俊裕
昭和49 電気 西山裕朗
昭和49 印刷 平岡良子
昭和49 建築 三田和範
昭和49 建築 宮本敏行
昭和49 建築 堀家弘
昭和49 建築 谷村聡
昭和50 定機 村上則行
昭和50 印刷 荻野昭治
昭和50 印刷 武田賀代
昭和50 機械 前坊俊光
昭和50 電気 山口卓也
昭和51 機械 西田清之
昭和51 建築 浅岡昌利
昭和51 機械 中江泰男
昭和51 機械 木下隆一
昭和54 印刷 太田正英
昭和54 機械 本多忠博
昭和54 機械 高橋伸彦
昭和54 電気 西野伸彦
昭和54 電気 松野澄和
昭和55 建築 杉野哲也
昭和58 建築 藤村忠
昭和58 建築 小山正浩
昭和58 建築 頓花敏修
昭和61 電気 寺埜隆
昭和62 機械 秦直樹
昭和62 電気 宮内誠
昭和62 機械 林建次
昭和62 機械 白崎靖博
昭和62 機械 藤田勲男
昭和63 建築 堂前嘉典
昭和63 電気 弥園浩典
平成01 機械 鎌田昌弘
平成01 電気 西尾徹
平成02 機械 風早淳
平成02 電気 杉本大樹
平成05 機械 風早毅
平成05 定機 原尾伸一
平成05 定機 今井龍一
平成06 建築 今井龍一
平成07 電気 森本克己
平成09 電気 福本真己
平成11 機械 川端史仁
平成11 機械 尾崎夕馬
平成11 電気 長栄洋輔
平成14 電気 細江優輔

平成14 建築 岡迪典
平成15 定機 相原明彦
平成17 定機 安田裕輝
平成18 定機 猪谷治晃
平成20 電気 濱田和哉
平成20 機械 上村裕也
平成21 電気 矢野善之
平成21 機械 萩村和茂
平成26 機械 池田州
平成26 機械 中川貴博
平成27 機械 竹谷実樹
平成27 電気 阪谷駿
平成27 電気 鮎川翔太
平成28 電気 池水美桜
平成29 工学 鈴木愛香
平成30 機械 芝崎祐樹
平成30 建築 城貴裕
平成30 工学 門川大地
令和02 電気 川端ももか
令和02 工学 井上幹太
令和02 機械 尾崎拓己
令和03 機械 芝崎胡桃
令和03 GA 西脇 懂
令和03 機械 中山拓也
令和04 GA 矢野凱夢
令和04 電気 山本歩夢
令和04 電気 小谷 遼介
令和04 建築 佐伯修介
令和04 機械 本庄雄大
令和05 機械 川崎朔也
令和05 電気 溝山大陸
令和05 機械 山崎元稀
令和05 機械 青石泰知
令和05 電気 富田一誠
令和05 電気 中瀆黎皇
令和05 機械 吉村俊祐
令和05 機械 田中智曉
令和05 建築 塩井一平
令和05 建築 草野夏星
令和4 0 機械 昭和工印刷科振興会
不明 ナガノタミコ
ヤナガワタカシ
岩田 瑛斗
高橋 キョジ
アオノ・ムラタ
今工会少年基金
無記名一件
日創建築工房
元校長 石川俊一
元校長 古賀史郎
元校長 山脇正隆
元校長 丸岡俊之
元校長 高嶋 保
元校長 駒井知一
旧職員 都 豊子
旧職員 松本千賀子
旧職員 西野小枝子
旧職員 藤井勝成
旧職員 岩井隆男
旧職員 西岡 巖
旧職員 永井 良
旧職員 手塚弘子
旧職員 富田康夫
旧職員 松村郁弘
旧職員 林 俊恵
現学校長 阿部政之
現准校長 西尾典之
現教頭 龍 忠男
現定教頭 小早川弘樹
現主査 蔭山敦雄
母校食堂 中村安治・拓

今工の思い出・今工のすぐ裏に住んで・

昭和 86 年機械科卒 中浦 久

昭和 24 年、小学校 1 年生になる寸前に疎開先の高野山の山奥から西成区長橋通りへ引っ越しました。長橋通へ引っ越してきた頃、現在の今工の実習棟の土地は雑草の生い茂るだっ広い焼け跡でした。学校で使うチョークを作っている工場だったのだそうです。その工場跡が整地されてグラウンドとなり、子供の我々は金網越しに面白い体育大会などを見物しておりました。

家の近くに今工があったので入学を希望したわけではなくて、小さい頃から機械いじりが好きなので将来は機械科に入学すると、小学生の時から決めていたのです。

昭和 29 年頃の校舎



また今工との血縁として、私の叔父・中浦賢二は昭和 12 年に高級機械科を卒業しています(昭和 18 年に戦死、陸軍大尉)。一番上の姉の主人・小林広行は昭和 27 年に全日制建築科を卒業(昭和 46 年没)しています。更に息子は平成 4 年に全日制・印刷工業科を卒業しました。グラフィックアーツ科になる直前でした。息子は私が卒業しても今工当時の沢山の級友達と仲良く付き合っていたのを見ていて雰囲気が良いとの思いで決めたいのです。

息子が今工へ入学すると、その時の PTA 担当が、後の今工・教頭さんから淀川工業高校の校長などを歴任された長谷川耕三先生(昭和 40 年今工機械科卒)でした。そんな関係でたちまち PTA の役員に指名され PTA 副会長も 2 年間やらせてもらいました。

我々の担任の多田正造先生(平成 9 年没・84 歳)が昭和 54 年に勇退されました。先生の教え子でもあり、当時の今工会の副会長、・仙石年夫(昭和 26 年卒)先輩の音頭で教え子が集まり、大阪コクサイホテルで記念の会が開催されました。参加者には参議院議員の峯山昭範(昭和 29 年機械科卒・後に今工会会長に)

先輩、また後に「桂南光」として有名になれた落語家・森本良造(昭和 45 年卒)さんが来られていました。



この祝賀会の後に仙石先輩から「中浦、今工会の理事になれ!」

と、引き受けました。何年間かして「常任理事」となり、そのうち中浦賢二叔父さんの時代の熊城健次郎(昭和 11 年高級機械科卒)先輩から「会計監査の役を引き継いでくれ」と言われたので引き受けました。10 年以上は担当させてもらいました。そして昨年まで顧問を。

ここで少し我々のクラスの話。昭和 33 年から 36 年まで教えを受けた担任の多田先生が、当時の初任給が 1 か月働いても 7、8 千円位だったころ、「わたしは 1 千万円も貯めた」と話しておられました。その話にあやかっただけか?皮肉なのか?我々のクラスと同窓会の名前は「一千万円会」となりました。私は 3 年間、級長をしていた関係で 60 年以上、一千万円会の幹事をやっております。一昨年の令和 5 年に傘寿を祝い第 37 回の一千万円会を開催しました。残念ながら 11 人の方が物故者となりました。同級生も老化が激しく、「この先、何年継続して開催出来るか疑問だな～」と話す年齢になりました。

話は変わりますが、今工の創立は大正 3 年(母親の誕生した歳)、寅年でしかも 36 年に一回巡ってくる「五黄の寅(ごおうのとら)」と言って、易学や占術においては最強の運勢なのだそうです。虎は千里の道を走ってしかも千里の道を帰って来るという縁起の良い動物です。母親は 93 歳の天寿を全うしました。今工も創立 110 年必ず強運があるはずです。

ところで、千日前の繁栄はお墓の跡地に建てたからだそうです。明治 31 年の地図を見ると今工の場所はお墓でした。今工の繁栄あるのも・・・今工の住所は「西成区出城通り」となっており天正年間(1546)には近くにお城があったのだそうです。これ又おめでたい話です。

要するに強運の星のもとに生まれたり、縁起の良い場所であつたりとか、良い話ばかりです。昨今、大阪府立の工業高校が廃校になる状況もありますが、強運の今工は今後も厳然として存在すると信じます。大阪府立今宮工科高等学校と今工会や皆々様の益々の発展を祈念して。

変化を恐れず

昭和 46 年定時制機械科卒 植田 元 求

今工創立 110 周年記念式典への参加の為に久し振りに母校を訪れる機会にめぐまれました。もう長く訪問していないので本当に懐かしさがこみ上げて来ました。



私は、定時制課程の生徒でしたので、日曜祝日、夏と冬休み等以外は、毎日通学し 17 時 30 分から 20 時 55 分まで 4 時間学びました。

昼は、実家の鉄工所に、その後は親類先の工場、そして最後は JR 京橋の近くにある工場へと変わりながら 4 年間を過ごしました。

今工時代の思い出は、昼間の仕事の疲れを感じながら受けた授業、文化祭、体育祭、弁論大会、校外学習等いろいろ、クラブ活動では、小柄ながらバスケット部で走り回っていました。

しかし一番の思い出は、南鹿児島への修学旅行で、ツアー同行のバスガイドさんとクラス全員とのなんとも云えない、あたたかい絆が出来、帰路の別府港では、みんな涙、涙のシーンだったことで、いまだ忘れ



卒業後は、山梨県甲府市郊外の小型飛行機整備の日本航空専門学校に学びました。しかしその後の事情もあり、就職は日本電信電話公社、現在の NTT に入社しました。電気通信は得意の分野ではありませんでしたが、周囲のみなさんに支えてもらいながら 44 年勤務しました。

その後は現役時代の元上司の方の勧めで、マンション管理の仕事すすめられ 70 才まで、現在は依頼された日、登録型代行マンション管理員として従事しています。74 才になりましたが変化を恐れず健康に留意しながら日々歩んで行きたいと思います。



止まらず、勉強し、懐深く

昭和 49 年機械科卒 北川 泰 助

日本画との関わりについてお話します。今工卒業して東亜国内航空に入社しました、その後日本エアシステム、日本航空に吸収合併されました。仕事は航空機の整備、訓練が主でした、資格取得後、重整備、運航整備に従事しました。55 歳で早期退職(倒産、政府管轄と成りリストラされる)その後専門学校で貿易実務資格取得、新たな航空会社の立ち上げにも関わりました。長男の受験と相まって私も大学に入学しました。今までの仕事とは正反対の文系、哲学、宗教を勉強しました。



福岡で初めての ART CAMP(アジア、EU、日本の芸術家が宿泊しながら作品を制作、地元との交流、共同制作)が開催されました。そこでボランティアスタッフとして参加しました。油、アクリル、日本画、彫塑、木工、書道等多く作家やアーティストと交流して友達を作ることができました。サラリーマン時代とは全く違ったアートの世界に驚くばかりです。働いた分だけ賃金を得ることが当たり前と思っていましたが、当然だと思っていたことが通用しない世界でした。作家が懸命に作品を制作しても買って頂かないと収入にならない、売れないと生活が成り立たない、非常に厳しい世界だと知りました。

アーティストは作品を生み出すプロですが、作品を売る事、金銭を蓄える事、普段の生活をする事については些か怪しい点が有りました。目線思考が一方方向を向いていて、外れた多くの事柄は頓着しない、お構しない方が多いです。貯金が無い事は当たり前でカツカツの生活をしていました。

私は会社員時代の知識と貿易の薄い知識で応援出来ないかと思いました。これまで多くの先生や先輩同僚に助けて頂きアドバイスを頂き学校生活、サラリーマン生活を終えてきました。これから少しでも恩返しをする時期になったのではと思って、日本画のマネージャーを引き受ける事になりました。

私の学生生活は卒業後院生と成り、九州大学で生徒して現在も勉強しています。柔軟かい思考を維持するには新たな情報知識を得ることが必要と成り、袂を広く開けて吸収したいと思います。生きた情報、感性を磨くには、止まっていたは相手からは来ません、自ら手を出して学ばないと取得できません。

これから暫くは多く作家さんたちと関わりを持って少しでも僅かでも文化の発展に寄与出来ればと思います。

西成の風物詩

昭和50年印刷科卒 武田 賀代

当時の学校周囲環境を知る人はあるある。若いヒトは・・・ワカランやろうなあ～。

秋空に響き渡る応援団のエールや太鼓に手拍子、級友への声援や拍手、盛り上がるアオハル。

「頑張れえ～っ！」背後から聞こえるダミ声の大声援。「?・・・」仰ぎ見れば陸橋にびっしりギュー詰め鈴なりのおっちゃん達・・・。

そうか～今日は日曜日、仕事は休み聊なんやねんなあ。パチ行く金もないやかなあ。運動場が一望できる陸橋はフェスの特等席。足下に一升ビンもあるやん。

でも暴れたり下品な野次は無く（私の記憶では）要所要所で「ようやったー!」「フレイフレイ!」と拍手するルールとマナーにのっとり応援やった。



おっちゃんらの胸に去来するのは子どもの頃の運動会? 体育祭見物はしばしおっちゃんらの無聊の慰めになっていたんやろうか?

「人生とは?」なんて全く頭に無かった私のアオハル・・・学区も無く、志望動機も家庭環境も多種多様、いろんな子がおりましたね。もちろん先生もネ、今で言う多様性社会?・・・おもしろい3年間でした。（顔写真は遠慮させていただきます。すみません。）



今工定時代・あの時は光っていた

昭和51年定建築科 恵原 辰良

私は、昭和31年生まれ、今年69才になりました。

私は奄美大島から中学を卒業し集団就職で大阪で働きました。それも一家家族全員で同じ会社へ就職、母は寮母として、私と3つ違いの兄は工場に。父はアル中で仕事ができず、また入院もできずと中途半端な状況でした。

会社が終わるのは5時半で学校は5時から、会社にお願ひし4時半には終わるようにしてもらいました。家族で大阪へ出てきたのでさみしくはありませんでした。

高校3年時、母が脳血栓で倒れ、兄貴は仕事中に事故に遭い、お先真っ黒でした。収入が減り、母の入院費、兄の入院と途方に暮れていました。同級生の福留君が、生活保護を受けたらと言ってくれましたが、父が反対でした。しかし生活保護の医療保護を受けることが出来、安心して母親の入院、兄貴の入院、父の通院ができ少し希望が見えてきました。

その時私は、仕事、勉強、クラブ活動（柔道部）と家族のこと、まさに一日一日が、くたくたでしたが、若さと充実感、そして同級生が支えてくれたことは、まさに私にとって金の思いでした。

24才の時郷里に戻り、鮮魚店の仕事につきました。そして、36才の時に奄美大島名瀬市の市議員に立候補し当選しました。夢にも思わなかったことですが、36才から48才までの12年間（3期）つとめました。



市議員の頃の写真

その間、通信制の大学法学部を42才で卒業することもできました。

今思うと、15才から19才の今工での4年間がなかったら、こんなに頑張ることは出来なかったと思っています。



昭和51年卒業写真

前列左から5人目が福留君、2列目左から5人目が私

青春時代を満喫した期間でした！！

平成 10 年グラフィックアーツ科卒 河野 篤 史

私は中学校を卒業したら高校にはいかずに辻調理師専門学校（通称 辻調）に進学しようと考えていました。その時に母親に言われたのが「専門学校に行くのはいいけど、その道を外れた場合は中卒やで。再就職が難しいから、高校では無理に勉強はしなくていいので、とりあえず高校は卒業しよ。3年間楽しい思い出を作りに行ってみ。」と言われて、物を作るのが好きだったので機械科を希望していたが、見学しに行くと母親が「グラフィックアーツ科に女の子いっぱいいるやん。高校卒業して辻調行くんやったら女の子がたくさんいる学科のほうが絶対楽しいって」と言われ何を学ぶかも分からないまま入学。

今では専門学校の教師として教鞭を執っているのですが、当時は本当に人見知りで女の子とも話したこともなかったのが、入学当初はクラスの女子に話しかけられるのがドキドキしていたのを今でも覚えています。

高校での思い出は高校3年の時の体育祭です。それぞれ科ごとに分かれて応援団を結成する一大イベントでグラフィックアーツ科の3年男子全員が応援団に参加しました。その時に何と人生で初めて“モテ期”が訪れました。応援団をしていたので、かつ



こよく見えたのか、「1年生の女子に河野先輩ファンが多い」よということを同じクラス的女子から聞きました。色々ありながら人生で初めての彼女ができたのも高校の良い思い出です。

部活は中学から続けていた柔道部に入部。高校に入ると背丈も大きくなり試合でも勝つことが多くなったことで柔道が好きになり、高校3年生の大会では軽量級ながら初段の部（無差別級）の大会で大阪府ベスト8に勝ち残ったのが最後の試合です。

高校を卒業してからは仕事の休みの日に柔道部のコーチとして後輩指導をしながら、練習を約10年続けていました。イベントに参加するのも好きだったので、OBのメンバーを集めて地域の柔道大会に出場をするなど、今でも道場に通って体を動かしています。

最後に、高校では色んな思い出を作ることができかけがえのない親友が出来たことを今でも感謝しております。10月25日（土）の総会には出席する予定です。クラス、部活や学科など関わったことがある方とお会いできればうれしいのでぜひお越しください。

辻調理師専門学校 中国料理 助教授 【DAIGOも台所】に出演中です。（テレビ朝日系列 13時30分～45分毎週月～金）



2024年 常任理事会



毎年母校文化祭で資料室の公開をしています。卒業生も連れだつて。下は昭和43年機械卒の方々。



ご連絡

会報発送について

役員会

- ① 今工会報は、今後もこれまで通り、2年に一回を原則に発行いたします。
今工会の行事の案内・報告、卒業生の活躍、母校の近況などを会員のみなさまにお知らせ致します。
- ② 会報発送
会報は今工会の活動を維持・発展させるため、重要であり、現在全会員へ発送していますが、発送料金の値上がり・会員数減少、同窓会会費(現在終身会費制)徴収方法(本人・保護者の承認の必要)にともなう収入の減少で予算のやりくりが難しくなっています。
このままでは今後運営することが難しい状況です。
- ◎ 今後の発送につきましては、
ホームページ掲載とメールにて配信することを原則にし、
希望者の方には会報発送を行い、郵送協力金をお願い
したいと考えています(1口2000円)。
と言う提案です。本年の常任理事会・総会にはかり決定
する予定です。ご意見をいただければ幸いです。

メールアドレスを
記入するための
QRコードです



振込口座です

りそな銀行 普通口座 口座番号 6358870

定時制生徒

の交流と憩いの場を!!
「すずめカフェ」

「令和7年度NPO等と連携したこども居場所づくり支援モデル事業」を活用し、校内に生徒たちの居場所をつくることで、生徒の抱える課題を早期に発見する支援体制を構築するとともに、効果的な居場所づくりを行うことを目的として、NPO法人FAIR ROADのご協力を得て、令和7年7月より「すずめカフェ」として本格稼働となりました。長期休業中を除き、毎週金曜日の始業前・17時からと放課後・21時10分から、北館1階図書室でオープンしています。

カフェでは、定時制の生徒が学校関係者以外の方と気軽に飲み物を飲んだりしながらボードゲームで遊んだりして、授業時とは違った一面を見せることができる、校内で気軽に過ごせる『居場所』となりつつあります。



今工のいま2

ドラマの話の元になっている
クラブ活動・定時制科学部

リアル「宙わたる教室」

顧問：谷口真基

直木賞作家伊与原新さんの小説でNHKドラマにもなった『宙わたる教室』。この作品の中に出てくる「重力可変装置」が定時制科学部の部室に存在します。

実はこの小説、登場人物などはフィクションですが、本校科学部の活躍と研究をモデルとして描かれたものなのです。とはいえ、事実は小説よりも奇なり。

実際の科学部では小説よりも、もっともっと刺激的で破茶滅茶、そして感動的な活動をしています。



会員の横顔



(編集部・吉田取材)

昭和40年機械科卒業の佐藤伸二さん(写真右前)が、昭和15年創立、伝統のある「創元社」の85周年創元展・地方巡回展(大阪市立美術館)に出品され、春日部市から今回3日間大阪に来られました。創元会には2013年に初出品され、入選、その後5回賞を、現在会員になっておられます。7月17日、今工時代美術部の一年後輩・建築卒の山本利明氏、M3C同級生・小原竹司氏、河野恒久氏と共に観賞し、ひと時懇談する機会を得ました。16日には美術部の仲間、18日は卒業後最初に勤めたk.kカワタの同僚の方々が観賞に。5月には同じ美術館での水彩連盟展にも出展されています。